

平成24年度事業評価シート

事業名	95140	岐阜国体開催事業		担当課	市民活動部 国民体育大会推進課		内線	2361
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ	
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができる	
	目	1	体育総務費		施策			
根拠計画	第三次スポーツ振興基本計画							
実施計画事業	岐阜国体開催事業							
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	平成24年ぎふ清流国体において、バスケットボール、ハンドボール、アーチェリー競技を実施する。		
概要	事業の実施手法(手段)	ぎふ清流国体本大会の開催		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績	ぎふ清流国体競技別リハーサル大会(バスケットボール:8月、ハンドボール:8月、アーチェリー:7月)及び冬季スキー競技会(アルペン、ジャンプ、クロスカントリー、コンパインド:2月)の開催					
		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	215,550	218,000	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)			153,647	136,000	
		一般財源			61,903	82,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)		2,310	2,348	
	受益者	市民	(B)		93,312	92,861	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)			
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	市民のスポーツへの関心の高まり、地域経済の一層の活性化等、国体開催に対する市民の期待は大きいものがある。			
		B (1)	ある程度のニーズがある					
		C (0)	ニーズが低い					
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	評価対象外				
		B (1)	一部見直しが必要である					
		C (0)	市が実施する必要性が低い					
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	活動・成果指標の設定が困難である。			
		B (1)	目的とする成果がある程度あがっている					
		C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である					
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	経費節減・企業協賛金等の確保に努めた。			
		B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている					
		C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である					
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	リハーサル大会及び冬季スキー競技会を成功裏のうちに終了することができた。			
		B (1)	ある程度効果があった					
		C (0)	あまり効果が見られなかった					
合計		4	/	6	→	100点換算	67	点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なのかを記入)	より一層の企業協賛金等の確保を図る必要がある。 ぎふ清流国体を今後のスポーツの推進等につなげていく必要がある。
--	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	企業協賛金等の確保により、県補助金交付対象外経費の縮減を図る必要がある。
----------------------	--------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	企業協賛金等の確保については、各種団体・各事業所等に協力を求めている。 スポーツ推進課と連携して、ぎふ清流国体を契機とした更なるスポーツ推進策について検討している。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H24完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H24完了予定